

兵学校体験から生まれた戦後初期の「家庭風呂」 ノーリツ創業者 太田敏郎 自叙伝「お風呂は人を幸せにする」

～ 激動の戦前戦後の人生を一冊の本に～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社：神戸市、代表取締役社長：神崎茂治、資本金：201億円、東ノ大証一部上場)名誉会長・太田敏郎の執筆した「お風呂は人を幸せにする～わが心の自叙伝～」が5月下旬に神戸新聞総合出版センターより発行されます。

この本は神戸新聞で2007年3月9日から2008年4月6日まで連載された「わが心の自叙伝」(毎週日曜日)全38回分に新たに時代考証などを加筆した内容で構成されています。

太田の幼少時代、海軍兵学校時代のエピソードやノーリツの創業、転機、発展の様子、また財界活動を開始してから現在に至るまでを太田自身の言葉で赤裸々に語っています。また、戦前戦後の神戸の様子やその時代ごとの背景など、太田の人生を通して神戸の歴史を垣間見ることができる内容となっています。

タイトルの「お風呂は人を幸せにする」は、ノーリツ創業の原点の言葉です。太田が戦争中に所属していた海軍兵学校で唯一やすらぎを感じることができた場所が「お風呂」であったという経験と、「能率風呂」の発明者である植松清次氏の「風呂は人類の幸福の泉や」という言葉が重なり生まれました。この言葉のもと、太田はノーリツの前身「能率風呂工業」を創業しました。そして、この信念は、ガス化、システム化を経た今もノーリツ全社に受け継がれています。

目次抜粋(全6章)

- <ガキ大将> きついお灸すえられて
- <海軍兵学校> なんと2通の合格通知
- <兵学校生活(上・下)> 目を開いたまま居眠り
- <戦後いろいろ> 若さにまかせ経験を積む
- <事業立ち上げ> 「風呂は人を幸せにする」
- <株式上場> まず中央研究所を建設
- <商工会議所副会頭> 財界活動を開始する



特徴的場面抜粋

「私たちは訓練が終わるや否や一斉に浴場に駆け込み、プールのような大きな浴槽に飛び込んだ。そしてお湯の温かさでやっと生気を取り戻し、そして湯気のかなたに故郷を思い母親の顔を思い浮かべて『お母さん、今日も俺は生きとるで』と涙を流したものである。」(第2章・兵学校生活⑩より)

起きた瞬間から眠りに落ちるまで、息つくひまもないほど厳しい訓練の続いた海軍兵学校の毎日の中、お湯の温かさに触れることのできた入浴の時間が太田にとって唯一のやすらぎを覚える時間でした。後の太田の人生に大きな影響を与えることとなった場面。

「私は壇上に上がり、出席者全員に『本社は倒壊したが生産工場は大丈夫だ。商品は間違いなく送り届ける!』と宣言した。」(第5章・阪神大震災より)

東京で全国代理店会を予定していた平成7年1月18日の前日(1月17日)未明に阪神大震災に襲われ、本社が倒壊したにも関わらず、役員一同神戸から夜を徹して上京し予定通り開催した全国代理店会で太田はこう宣言し、身をもってノーリツの生産体制の健在ぶりを伝えました。

どんな困難な状況にあっても会社を守り抜くという太田の信念が表れた代表的な場面のひとつ。

概要

タイトル:「お風呂は人を幸せにする」～わが心の自叙伝～

著者:ノーリツ名誉会長 太田 敏郎

発行所:神戸新聞総合出版センター

発行人:岡部 信夫

定価:1,575 円

発行部数:2500 部

発行日:2008年5月下旬

総ページ数:164 ページ

< 太田敏郎経歴 >

ノーリツ名誉会長。

1927年、姫路市生まれ。

45年海軍兵学校卒業。50年に能率風呂商会、翌51年に能率風呂工業を設立、専務取締役就任した。その後、ノーリツの専務取締役、社長、会長などを歴任。また、財界では神戸商工会議所副会頭(1994 - 2004年10月)を務めたほか、神戸ルミナリエの運営に尽力している。

本に関するお問合せ先

神戸新聞総合出版センター
編集担当:浜田
電話:078-362-7140